

腕章（帽子）着用推進キャンペーンにご協力を

青山小学校 PTA 会長 沖井直美
子ども見守り隊 会長 入江辰男
青山小学校 校長 丹羽広光

子供に対する声かけ事案等への抑止策として、いつでもどこでも簡単に出来る、腕章着用推進キャンペーンを実施いたします。会員の皆様等のご協力をお願い致します。

1. 実施の理由、背景

① 現在、児童の登校時の見守りについては、ほぼ満足すべき状況と思われます。しかし一方で、下校時その他における見守りは、水曜日を除き慢性的に手薄な状況が続いています。

② その最大理由が、特に PTA 会員（B 会員）が仕事とのからみで参加しにくいので、と聞きます。登校時においても同様とのことです。

③ 町の中で、「腕章（帽子）を着用した人たちをちよくちよく見かける」・・・こういう状況を作り出したい、というのが最終目標です。これが、声かけ事案等に対する最大の抑止力を発揮します。そしてこのことはスクールガード発足時の基本方針であり、PTA により毎年発行される「スクールガード通信」にも述べられています。これを単なる「お題目」に終わらせてはいけなと考えます。

2. 具体的な活動内容

① 日常生活の中で、外出時に腕章または帽子を着用します。

【例】 買い物、（犬の）散歩、ウォーキング、ジョギング。

② 頻度は、下校時見守りも含め、週 2 回以上とします。登校時は含めず午後からの活動とし、また着用して歩く距離も問いません。長距離でなくても OK。腕章は腕でなく腰にぶら下げても OK。常識の範囲で。

③ この活動なら、仕事をお持ちの会員でも、何の支障もなく参加いただけると考える次第です。

3. 活動スケジュール

① R4 年 2 月を、「テスト期間」とします。

② R4 年 4 月以降、本格実施します。

③ 年 2 回（9 月末、3 月末）、結果を簡単にレポートしていただきます。いつ参加したか、何回参加したか、など。

4. 今後の展開

① 活動結果をデータ化し、自治連合会を通じて学区内に広く広報します。

② これが実現できた時、青山は真の意味での「子供たちにとって安全な町」になると考えます。